

日本大気電気学会第89回研究発表会 プログラム

共催： 電波科学研究連絡委員会E分科会
輻射科学研究会



日程： 2013年 7月4日(木)、5日(金)
 会場： 東海大学不知火センター松前会館3F「阿蘇・不知火の間」
 〒869-3203 熊本県宇城市三角町戸馳7番地
 (Tel:0964-52-2000、Fax 0964-52-2001)
 連絡先： 東海大学産業工学研究科生産工学専攻
 岡野 大祐 okano@ktmail.tokai-u.jp (Tel/Fax:096-386-2646)

日 程 表

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
7月4日 (木)							雷・電 磁波Ⅰ	大気電 場・イオ ン・地震	特別 講演	総 会	懇 親 会		
7月5日 (金)	雷・電磁波 Ⅱ	雷・電磁波 Ⅲ											

注：発表者は○印で示され、学生(学部生、大学院生)の時には下線が付してあります。

第1日 7月4日(木)

セッション 1 雷・電磁波 I

14 : 00-15 : 15

座長 森本健志 (近畿大)

1. ○王道洪、高木伸之 (岐阜大)
自然落雷の第一雷撃の最終雷撃過程
2. ○高松謙与士 (D2)、王道洪、高木伸之 (岐阜大)、道下幸志 (静岡大)
風車施設で発生した多重落雷の雷撃様相
3. ○石川裕規 (M2)、王道洪、高木伸之 (岐阜大)
フロリダにおけるロケット誘雷の最終雷撃過程の統計的な特性
4. ○鳥居建男 (原子力機構)、杉田武志 (科学システム研)、佐々木明 (原子力機構)
高エネルギー電子に起因した大気の電離とパーコレーションモデルによる雷放電の進展解析
5. ○成瀧友佑 (B4)、鈴木裕子、鈴木智幸 (東京学芸大)、鳥居達男 (原子力機構)、鴨川仁 (東京学芸大)
冬季スプライトの分布と原因となった落雷の相対関係

セッション 2 大気電場・イオン・地震

15 : 30-16 : 45

座長 本島邦行 (群馬大)

6. ○大洞行星 (研究生、東京学芸大)、鳥居達男 (原子力機構)、中村真帆、鴨川仁 (東京学芸大)
福島原発事故における大気電場日変化 (カーネギーカーブ) の形状変化
7. ○鴨川仁 (東京学芸大)、鳥居達男 (原子力機構)、木村嘉尚、大洞行星、中村真帆 (東京学芸大)
福島原発事故における大気電気の変動
8. 長岡信頼、○三浦和彦 (東理大)、上田紗也子 (名大)、永野勝裕 (東理大)、矢島千秋 (放医研)、河田 綾、古谷浩志、植松光夫 (東大)
太平洋上で測定した小イオン濃度
9. ○服部克巳、韓鵬、廣岡伸治 (千葉大院)、吉野千恵 (千葉大院/インフォメーションシステム)
地震に関連する電磁気現象：事例解析と統計解析
10. ○安江剛広 (M1)、芳原容英 (電通大院)、A.Y.Schekotov (ロシアIPE)
地震に先行するELF帯磁場放射とULF帯磁場減少の比較および統計的研究

特別講演： 16:55-17:55
「SETI（地球外知的生命体探査）の歴史と現状」
講師：藤下光身（東海大学産業工学研究科情報工学専攻 教授）
司会：岡野大祐（東海大学産業工学研究科生産工学専攻）

総会： 18:00-19:00

懇親会： 19:15- レストラン望星（松前会館2F）

第2日 7月5日(金)

セッション 3 雷・電磁波Ⅱ 8:45-10:15
座長 芳原容英（電通大院）

- 1 1. ○山路実加 (M2)、小林文明（防大地球）
2012年5月6日関東地方で発生した積乱雲のライフサイクルと落雷の関係
- 1 2. ○大窪拓未 (M2)、小林文明、山路実加、桂啓仁（防大地球）、鷹野敏明（千葉大院工）、
柏柳太郎、高村民雄（千葉大CEReS）
2012年8月30日に房総半島で観測された積乱雲turretの発生過程
- 1 3. ○岡野大祐（東海大学）
大気圧コロナストリーマ放電路の電子温度推定(2)
- 1 4. ○本島邦行、真下桂吾（群馬大）
雷雨発生時の見通し内 VHF 帯電波伝搬特性変化
- 1 5. ○島倉信（千葉大、プロネッツ）
位相差測定による到来方位観測シミュレーション
- 1 6. ○島倉信（千葉大、プロネッツ）
導波管伝搬効果を用いた雷分布観測シミュレーション

セッション 4 雷・電磁波Ⅲ 10:30-12:15
座長 王道洪（岐阜大）

- 1 7. ○乾大輝 (M1)、芳原容英（電通大院）
電通大VLF帯電波観測ネットワークを用いた金環日食に伴う下部電離層擾乱の観測及び数値解析
- 1 8. ○吉田智、牛尾知雄、河崎善一郎（阪大）
津波検出用Ku帯広帯域レーダの開発
- 1 9. ○吉田智、Wu Ting、牛尾知雄、河崎善一郎（阪大）、高柳裕次（日立）
フェーズドアレイレーダで観測された積乱雲の発達過程と電荷領域の関係

20. ○牛尾知雄、菊地博史、Wu Ting、嶋村重治、円尾晃一、平野裕基、商進、吉田智、金寛（阪大）、水谷文彦、後藤秀人、和田将一（東芝）、川村誠治、花土弘、佐藤晋介、井口俊夫（NICT）
フェーズドアレイおよび協調制御型レーダの開発について
21. ○森本健志（近畿大）、菊池博史、吉田智、牛尾知雄、河崎善一郎（阪大）、佐藤光輝（北大）、山崎敦、鈴木睦（ISAS/JAXA）
JEM-GLIMS による ISS からの VHF 帯電磁波観測の初期結果報告
22. ○Ting Wu(Osaka University), Yuji Takayanagi(Hitachi corporation), Satoru Yoshida, Tomoo Ushio, Zen Kawasaki(Osaka University)
Large bipolar pulses produced by lightning discharges in winter
23. ○嶋村重治 (D1、阪大)、吉川栄一 (JAXA)、吉田智、牛尾知雄、河崎善一郎 (阪大)
ベイズ理論に基づいた気象用Ku帯広帯域レーダネットワークにおける降雨減衰補正手法の開発

■ 講演者へのお願いとご案内

- (1) 1件の発表時間は15分です。発表11分、質疑応答3分、交替1分(合計15分)で御発表下さい。
- (2) 当日は会場に発表用PCを用意します。Windows/Power Point で作成したファイルを各種媒体でご持参下さい (休憩時間に各自で準備してください)。PC持込も可です (心配な方は各自のPCをご持参下さい)。
- (3) 大気電気学会誌原稿の送付先と締切り
講演者は「大気電気学会誌」の原稿（1頁ないし2頁）のワードファイルとPDFファイルを電子メールで下記までお送り下さい。
 - 1.送付先：
本島 邦行 群馬大学理工学研究院電子情報部門
Email: motojima@el.gunma-u.ac.jp
〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1
(Tel: 0277-30-1785, Fax: 0277-30-1707)
 - 2.締切り：平成25年8月30日(金)
 - 3.フォーマットは学会ホームページからダウンロードしてください。

発表会場：東海大学不知火センター松前会館
〒869-3203 熊本県宇城市三角町戸馳7番地 (Tel:0964-52-2000、Fax 0964-52-2001)

会場へのアクセス：

[ルート1]
熊本空港→→→ JR熊本駅→→→ JR三角駅→→→ 松前会館
(バス54分・670円) (JR55分・720円) (タクシー15分・2000円)
所要時間 2時間30分 概算金額 ¥3,390-

[ルート2]

熊本空港→→→交通センター→→→ JR三角駅→→→ 松前会館
(バス50分・670円) (バス74分・1,140円) (タクシー: 同上)
所要時間 2時間45分 概算金額 ¥3,810-

[ルート3]

熊本空港→→→ 東海大学熊本校舎正門前→→→ 松前会館
(タクシー35分・4000円) (※送迎大学バス90分)
所要時間 2時間15分 概算金額 ¥4,000-

※大学送迎バス情報

利用希望者は nagato@me.kochi-ct.ac.jp (高知高専 長門) まで予約の連絡をお願いします。

乗降場所: 東海大学 (熊本キャンパス) 正門を入ってすぐの右手側

住所: 〒862-8652 熊本県熊本市渡鹿 (とろく) 9-1-1

アクセス: http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/index.html

7/4 (木) 大学集合時刻: 12:00、全員集合次第出発

所要時間: 90分 (13:30頃発表会場到着)

7/5 (金) 会場出発時刻: 13:00頃 (ただし、状況によって変更有)

所要時間: 90分 (予定通りの場合14:30頃大学到着)

賛助会員名簿 (五十音順)

現在までに入会されている賛助会員は下記の通りです。本会への賛助に対し、深く感謝申し上げます。本会では賛助のご好意にお応えするため、「大気電気学会誌」に広告を無料掲載することとしております。広報担当運営委員、本島 邦行 (群馬大学理工学研究院電子情報部門 Email: motojima@el.gunma-u.ac.jp、Tel: 0277-30-1785、Fax: 0277-30-1707) までお申し込み下さい。

ウェザー・サービス株式会社

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 種子島宇宙センター

株式会社応用気象エンジニアリグ

音羽電機工業株式会社

日油技研工業株式会社

バスタ技研株式会社

株式会社フランクリン・ジャパン